

移住者と語る南越前町の魅力

「自然」「人」「体験」が未来をつくる

5月19日(火)、道の駅南えちぜん山海里において、南越前町わかまち応援団の羽田野直子さんと移住者を迎え、移住・定住をテーマに仲倉町長を交えて座談会を開催しました。会話の中から、町の魅力と可能性を紹介します。



アンバサダー紹介

羽田野直子さん

脚本家。大分県出身。テレビドラマ脚本や映画制作、地域イベントの企画など幅広く活躍。「国民文化祭・ふくい2005」をきっかけに県立恐竜博物館、こども歴史文化館の運営にも関わっている。



地方の価値が見直されている

仲倉町長

「昨今、世の中の情勢は大きく変わりましたね。移り変わりが激しい中でも、まちづくりをしっかりと見通していきたいですね。」

羽田野さん

「リモートで働ける今、自然のある場所で暮らしたい人は増えていきます。南越前町は、まさにこれからの時代に合った場所です。」

移住の決め手は「人」と「体験」

宇野さん

「最初は町を知らなかったけれど、南越前町の面白い取り組み(流動創生事業)に惹かれて来ました。今は人とのつながりや助け合いの文化が魅力です。」

古田さん

「自然、食、空気…全部が心地いい。ここでの暮らしの方が、自分らしくいられると感じました。」



移住者：古田峻さん
移住者：宇野朱美さん

子育て・教育にも最適な環境

羽田野さん

「自然の中での体験や地域の人との関わりは、子どもを大きく成長させます。こういう環境での子育てはとても大切です。」

仲倉町長

「地域コミュニティの中で育つことが、人間力につながります。この環境が生きているこの町をしっかりとアピールすることが大事ですね。」

農業体験や地域資源に可能性

宇野さん

「田植えイベントに都市部から参加があり、とても好評でした。」

羽田野さん

「農業体験は貴重です。企業研修としても活用できますね。」

仲倉町長

「花ハスや梅など、地域資源を活かした取り組みで人を呼び込める自信を持っています。」

「当たり前」が価値になる

古田さん

「暮らしていると、魅力が当たり前になってしまふ。」

羽田野さん

「当たり前になっていることに気づいていることが大切。外の視点を持ち続けることが、発信につながります。」

「つながり」を広げる役割へ

古田さん

「おすそ分けの文化において、もらったものを他の人に分けることで、町の価値を広げられるのでは。」

仲倉町長

「まさに「ハブ(核)」ですね。人と人がつながることで関係人口が広がります。関係人口や交流人口に数えられる人、全員が町の住民であると考えています。」



南越前町の未来に向けて

羽田野さん

「一人ひとりが「ハブ」になって魅力を外へ伝えることで、町に新しい流れが生まれます。南越前町は大きな可能性を持っています。」

【編集後記】

「自然、食、人の温かさ——南越前町には、ここにしかない価値があります。座談会で交わされた言葉の数々は、これからのまちづくりのヒントとなりました。」

問合せ

みらい創造課 ☎0778-4718013